本市が 抱える課題

人口減少

- ・20~40代の若い世代の流出
- ・今後予測される急速な高齢化

マーケットからの敬遠・地域経済の低迷・ 地価の下落

- ・マーケットから認知度が弱い
- ・基盤産業である第二次産業も低迷

インフラの老朽化・まちなみの魅力の低下

- ・高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化
- ・無秩序な開発と老朽化が相まってまちなみの魅力が低下

財政状況悪化の懸念

開発理念

自分でつくったまちに住む ~大東に住み、働き、楽しむ、ココロとカラダが健康になれるまち~

新しい都市型産業を創出する

住んで楽しく、稼いで楽しい都市型産業がコンパクトに集まって いるまちをめざす。

リード プロジェクト

市民や民間事業者が、自立的かつ持続的に 発展するまちをめざす

事業の担い手がリスクと責任と権限を持ってまちづくりに関わる ことで、新たな雇用が生まれ、経済が循環し、ひいては市の歳 入につながることをめざす。

大東でしか体験できない「暮らし」や「コト」を 生み出す

大東にしかないものを再度見つめなおし、掛けあわせて、大東 だけのニッチな価値を生み出す。

1. 北条まちづくりプロジェクト

「対象エリア] 大東市北条3丁目・4丁目

[開発理念] ココロもカラダも幸せに暮らせる住宅地

- ①若い世代の流入を図る多様な住宅の供給
- ②地域資源を活かした居住地域としての魅力創出
- ③生活利便性を高め、他地域からの来訪意欲を喚起させるビジネスの導入

[KPI(達成目標)]

H29年度: 事業・ファイナンス計画策定、事業会社の設立

H30年度:解体着手

H32年度: 住宅入居・テナント入居 100%

四条畷駅周辺エリアの家賃単価 1000円アップ

- ・借上げ公営住宅
- 多世代シェアハウス
- •権現川親水空間
- ・牛鮮3品マルシェ、ブーランジェリーカフェ
- ·温浴施設
- ・トレイルラン、ハイキング など



2. 深野北小学校跡地活用プロジェクト

「対象エリア」深野北小学校跡地を中心とした半径400m (徒歩5分) 圏内

[開発理念] ココロとカラダの稽古場

- ①質の高いスポーツ・歴史・文化・食のコンテンツを備えた拠点
- ②究極の職住超近接の実現
- ③エリア内の他の資源との一体的な魅力の創出

「KPI(達成目標)]

H29年度:校舎1階·2階部分の供用開始 H31年度:小学校跡地から得られる賃貸借料収入 1,000万円

- ・トップアスリートによるスポーツ教室
- ・介護予防ラボ、生活サポートセンター
- ・起業や期間限定イベントなどのチャレンジの場
- ・深北緑地や野崎観音など周辺資源と連携した 打ち出しなど

3. 住道駅周辺活件化プロジェクト

[対象エリア] 住道駅南側・住道駅前デッキ など

[開発理念] 何度でも訪れたくなる賑わいの場

①市域で最も稼ぐエリアとしての都市型産業の集積 ②PREなどの都市空間を利用した賑わい創出の仕掛けづくり

「KPI(達成目標)]

H28年度: エリア戦略策定

H29年度~H31年度:戦略に基づく事業実施

H31年度:住道エリアに対する市民・民間事業者の期待値の

上昇

域内経済短観の上昇

駅前デッキでプロポーズした人の数 5人





4. 健康づくりプロジェクト

[対象エリア] 市全域~全国

[開発理念] 健康の喜びを分かち合えるまち

- ①大東に暮らすと健康寿命が5年延びる都市型産業 = 健康ビジネスの展開
- ②介護予防の知財集積拠点づくり
- ③「18分アクセス戦略」による歩いて楽しむ健康づくり
- ④生駒山系の森林を活用したエネルギー、住宅、スポーツの開発
- ⑤大阪近郊、奈良、京都など交通の要衝として食のクロスオーバー拠点化

[KPI(達成目標)]

H28年度:健康長寿スクール(入門編)の開校・健康づくりビジネス起業研究

H29年度: " (プロ編)の開校・「18分アクセス戦略」の策定・健康づくりビジネス全国展開

H30年度:知的財産集積拠点(ラボ)の設置・健康づくりエネルギー、住宅の促進

H30年度⇒H32年度:全国の社会保障費削減

